

SP シリーズ 印字がかすれる場合の対処方法について

【必ずお守り下さい】

- 部品に汚れ等が付着していると様々なエラーの要因となりますので**定期的にクリーニング**することを推奨いたします。
※『SP シリーズ 清掃方法について』参照
- 部品取り外しの際は**必ず電源を切って下さい**。
電源が入ったまま作業すると怪我や故障の原因となります。
- カッター刃が取付いています。**必ず作業前にカッター刃を取り外して下さい**。
- **シンナー及び部品洗浄油等は、故障の原因となりますので使用しないで下さい**。

| 状況 | 原因 | 対策 |
|------------------------------------|------------------------------|--|
| 全体的にインクが付着し文字が鮮明にならない（グレー色のようなになる） | 印字テープ巻き取り部が消耗しているため | 巻き取りクラッチ部の調整及び巻き取りクラッチリングを交換して下さい。 |
| | 印字テープが巻き取られていないため | |
| | 経年劣化等による印字テープ劣化のため | 新しい印字テープに交換して下さい。 |
| 全体的に印字ムラが発生する | テーブル設定の「ノウド値」が誤っているため | 適正値を設定して下さい。 ※取扱説明書 参照 |
| | チューブ表面に癒着防止材等の粉が付着しているため | チューブ表面の付着物をアルコールで拭き取ってから印字して下さい。 |
| | 機械部品の消耗、摩耗しているため | 部品交換が必要です。 ご購入店または弊社 HP から修理依頼をお申し込み下さい。 |
| 一直線にスジのようなカスレが入る | サーマルヘッド先端部のドット欠けによる事象 | サーマルヘッドのポジション移動もしくはヘッド交換を行なって下さい。 ※取扱説明書 参照 |
| | チューブに成形時についた擦りキズ等があるため | 擦りキズ等がない箇所に印字して下さい。 または、「ヘッド圧 2」で擦りキズの奥までインクが入るよう印字して下さい。 (チューブに擦りキズが多い、深い場合はご購入店へお問い合わせ下さい) |
| 縦に白く線が入る | 主にローラーの汚れや摩耗による「白線抜け」と呼ばれる事象 | ローラーをアルコールでクリーニングして下さい。 それでも改善されない場合は、ローラーを交換して下さい。 |

| 状 況 | 原 因 | 対 策 |
|-----------|-----------------------|---|
| | | ※『SP シリーズ「白線抜け」改善方法について』 参照 |
| | チューブが硬いため | 「ヘッド圧 2」で印字して下さい。 または、印字時に潰しやいようにチューブを温め 柔らかくして下さい。 |
| 斜めに白く線が入る | 印字テープにシワが発生して いるため | ワークガイドの幅を適切に合わせて下さい。 (ワークガイドが広すぎたり狭すぎたりすると印字 対象物が蛇行しシワが発生することがあります) |
| | テープガイドピンが曲がって いるため | ガイドピンを曲げ直して下さい。 インクリボンが蛇行せず進むことを確認して下さ い。 |

*** 併せてロックナットセット部の清掃も実施してください**
メンテナンス方法は[こちら](#)